

「公印省略」

4 農林試第 1 0 9 9 号
令和 4 年 6 月 1 日

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 4 年度病虫害発生予察技術情報第 1 号について

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 1 号（カキのフジコナカイガラムシ）を発表したので送付します。

技術情報第 1 号

- 1 対象作物名：カキ
- 2 病虫害名：フジコナカイガラムシ
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生状況及び発生要因

昨年の 5 月までの発生量は平年よりやや少なかったが、空梅雨や秋の高温の影響で 9 月以降多発した（図 1、2、3）。

本年の 5 月までの発生状況は、県全体では前年・平年並であるが、園地間の差が大きい。また、前年度に多発した園地では、翌年度も多発する傾向にある（図 3、表）。

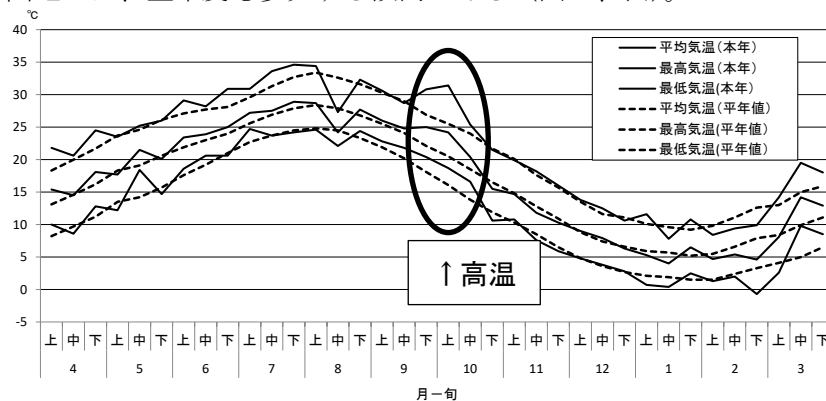


図 1 2021 年度の気温の推移

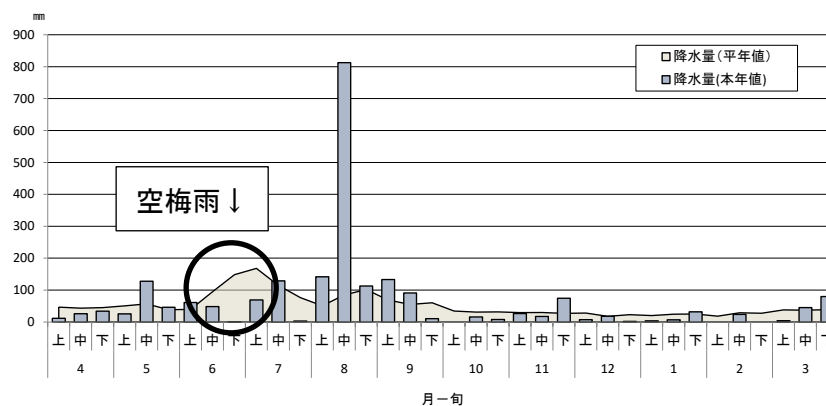
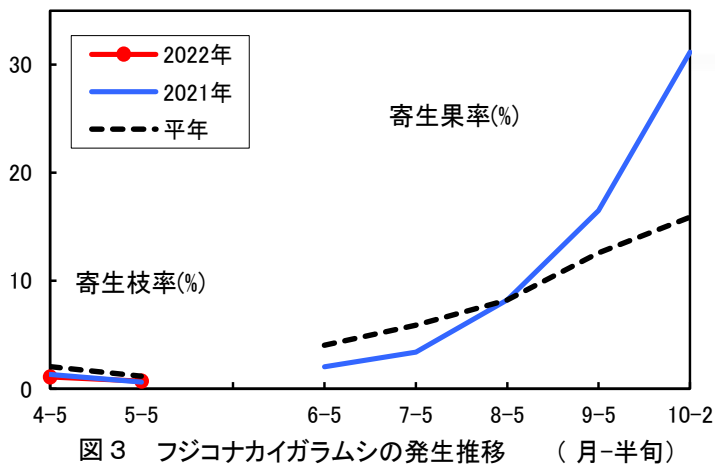


図 2 2021 年度の降水量の推移



調査地点	表 秋の寄生果率と春の寄生枝率			
	2020年秋 寄生果率 (%)	2021年春 寄生枝率 (%)	2021年秋 寄生果率 (%)	2022年春 寄生枝率 (%)
1	1.3	0	14.0	1.0
2	0	0	7.7	0
3	3.7	3.3	33.0	0
4	1.3	0	20.7	1.0
5	45.7	10.3	79.0	8.7
6	1.0	0	0.7	0
7	19.3	0	80.0	0
8	28.7	0	37.0	0.7
9	6.3	0.7	70.3	0.3
10	0	0	0	0
11	0	0	0.4	0

5 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤がかかりにくい部位に寄生しており、防除効果が低いと言われる大きな要因の一つが「防除のむら」であるため、散布むらがなく十分な薬量を丁寧に散布する。また、スピードスプレー(SS)の死角となる樹や枝は、低速で十分量散布する、手散布するなどムラができないよう努める。
- (2) 防除適期は1～2齢幼虫であり、3齢幼虫や成虫に対しては薬剤の効果が低い。このため、樹上での第1世代幼虫の孵化時期(6月上中旬頃)を確認し、約10日間隔で2回防除を実施する。第2世代以降は、幼虫の齢期のばらつきが大きくなり、果実のヘタの隙間もほとんどなくなるため、防除が困難になる。
- (3) 前年度に多発した園地では、翌年度也多発する傾向にあるため、特に丁寧に防除を行う。
- (4) 天敵への影響が比較的少ない薬剤で防除する。
- (5) 防除に当たっては、農薬使用基準(使用時期、使用回数等)を遵守し、周辺圃場への薬剤飛散防止対策を講ずる。

病虫害防除所のホームページでは、各種病虫害の発生状況を随時更新しています。
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

- 福岡県病虫害防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jpnp.ne.jp/fukuoka/> または右 QR コード①



- Twitter (ツイッター) で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitter の本アカウント(福岡県農作物病虫害情報)へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右 QR コード②

